

議長		副議長		局長		補佐		係長		係員	
----	--	-----	--	----	--	----	--	----	--	----	--

令和 8年 2月 2日

多賀城市議会議長 殿

会派等名 自由民主党多賀城市議団

代表者名 鈴木 新津男



調査研究報告書

このことについて、下記のとおり実施したので、概要を報告します。

記

1 報告者（参加者）

- (1) 代表 佐藤 雅博 (印) (5) 大場 和晃 (印)
- (2) 千葉 文昭 (印) (6) (印)
- (3) 本間 圭 (印) (7) (印)
- (4) 大内 裕太 (印) (8) (印)

2 調査研究の概要

- 調査期間：令和 8年 1月28日（水）～令和 8年 1月30日（金）
- 調査目的：子どもの居場所・遊び場、および新型ごみ処理施設の見学
- 調査手法：視察調査
- 行程又は日程：添付行程表のとおり
- 調査先及び調査事項

調査日時	調査先	調査事項及び現地視察の有無
29日（木） 10:00～11:30	山形県鶴岡市バーンフ ュージョンソライ	①子どもの遊び場・居場所機能について
29日（木） 13:30～15:00	山形県鶴岡市つる おかエコファイア	①新型ごみ処理施設について
30日（金） 10:00～11:30	山形県山形市 山形 まるごと館紅の蔵	① 指定管理で運営している観光複合施設の見学
30日（金） 13:00～14:30	山形県山形市シェルターイン クルーシブプレイスコバル	② 子どもの遊び場・居場所機能について

- 調査資料：添付調査先作成資料のとおり



3 調査の概要

別紙のとおり

4 所感（今後の市政に資する点）

別紙のとおり



自由民主党多賀城市議団 調査研究概要・所感

日時：令和8年1月29日（木） 10：00～11：30

場所：山形県鶴岡市

調査先：バーンフュージョンソライ

調査内容：①子どもの遊び場・居場所機能について

■概要

2018年にオープンした全天候型児童教育施設であり、一部公金を使用し建築（約12億円の費用に対し2億円が公金）され、運営は完全民営でおこなわれている。

運営しているのは教育施設のほかに農業、観光部門で事業を行う SHONAI グループで、地方を拠点とし、地方創生を掲げている。

庄内藩校致道館の教えであり、徂徠学（そらいがく）の教育理念である「天性重視 個性伸長（生まれながらの個性に応じてその才能を伸ばす）」を名前のルーツとしている。

施設内には大型遊具が設置された「アソビバ」、約1,000種類の材料と200種類の工具が揃う「ツクルバ」、約800冊の本が設置された「ライブラリ」があり、自由に過ごすことが出来る。個人利用料金は3歳～大人は1,500円、2歳700円、1歳500円、0歳は無料となっているが、2025年12月から独自の取り組みで庄内地域の子どもを無料としている。

そのほか委託事業で放課後児童クラブ、フリースクールを運営している。

■所感

一番に感心したところは館長の考えや思いだった。モットーは「自由」であり、大人がルールを作ることは極力避けたいとのことで、現に委託事業で行っている放課後児童クラブでは「子どもたちの自治」とし、ルールなどは子どもたちが話し合って決めることとしている。また、フリースクールでは昼食は子どもたち自身が作ることであり、準備してある材料をもとにメニューや使用する材料なども子どもたちが話し合って決めるのだという。例えばニンジンが好きな子もいれば嫌いな子もいる。それぞれが「入れる理由」、「入れない理由」を述べて、お互いの意見を尊重しながら合意形成を図っていくとのこと。自分の意見を相手にしっかり伝える、また、相手の意見を尊重するということは社会の中でも大切なことだと述べていた。子どもたちにとっては科目には当てはまらないが、大切なプロセスを学べると感じた。

民営で庄内地域の子どもを無料にすることについても伺った。当初、行政からの支援を検討していたが議会で反対され否決されたとのこと。そこであきらめずに事業収入や思いに共感してくれるスポンサーを増やすことで減収分を補っている。

なかなか真似できるものではないという所感だが、考え方や思いには共感できる部分や参考になる部分も多く、本市でもソフト面に関しては導入できることも多いと感じる。

日時：令和8年1月29日（木） 13：30～15：00

場所：山形県鶴岡市

調査先：つるおかエコファイア

調査内容：①新型ごみ処理施設について

■概要

令和3年から供用を開始した鶴岡市のごみ焼却施設であり、公設民営（DBO方式・・・設計、建設、運営を一括発注）の事業方式で行われている。

運営期間は20年間とし、15年経過時に延命化についての協議を開催する予定となっている。工事費は129億9,797万円で、運営管理費は20年間で85億2,830万円（ごみ量、物価により変動）となっている。

焼却施設はストーカ式焼却炉、処理能力は80t/日×2炉の160t/日となっており、余熱は蒸気タービン発電と、ロードヒーティングに利用されている。

蒸気タービンの発電量は年間約20,000MWh（一般家庭約6,700世帯相当）であり、発電した電気の1/3を場内消費に利用し、残りの2/3は余剰電力として売電し、小中学校に電力を供給する電力の地産地消を実現している。

■所感

本市では東部衛生処理組合に加入しており、広域的に運営されているが、10年後には新しいごみ処理施設の建設も視野に入れていることから調査研究に訪問させて頂いた。

視察当日は寒波が訪れており、道路は圧雪、路肩には雪の山というなかの訪問だったが、概要で前述した余熱を利用したロードヒーティングにより、駐車場と施設内の道路は全く雪が無く、雪かきの必要性すらないとのこと。着いて早々に雪国ならではの余熱利用だと感心したところである。もう一つの余熱利用である蒸気タービンによる発電では、旧施設では年間1億1,000万円掛かっていた電気代が0円となるほか、売電収入として年間2億2,000万円の収入があり、余熱を有効利用できていることが伺えた。郊外というよりは工場団地のような場所に立地していたが、徹底的な臭気処理によりニオイなどの苦情は無いという。

本市に今後建設する上でのアドバイス伺ったところ、交付金をうまく活用し自治体負担を減らすことは重要だという。ただし、熔融炉式（鶴岡市はストーカ式）などでは交付条件をクリアすることが難しい部分もあるため、自治体に合った判断が交付条件と噛み合うとは限らない、とのこと。最終処分場のスペースも限られているため、どのような方式を採用するのか、また、近年の物価高騰による建築費の増加をみると早い段階での決断が迫られていると感じる。

日時：令和8年1月30日（金） 10：00～11：30

場所：山形県山形市

調査先：山形まるごと館 紅の蔵

調査内容：①指定管理で運営している観光複合施設の見学

■概要

山形市第7次総合計画の重点課題である「交流を軸とした山形らしさのブランド化による産業の振興」を実現するため、中心商店街にアンテナショップの機能をもった「山形まるごと館 紅の蔵」を平成21年12月6日（産直部門は平成22年7月29日）に開設された。

山形の魅力の発信と地域ブランド力の向上を図るとともに、あわせて山形市中心市街地活性化基本計画の戦略である「三つの新名所づくり」の中の一つに位置づけられていることから、街なか観光の拠点として中心市街地の活性化に寄与している。

設置は山形市、管理運営は一般財団法人山形市都市振興公社が担っている。

■所感

名前の通り蔵が立ち並んでおり、蔵の内部はそれぞれ案内所、お土産処、食事処などとして利用されていた。観光案内所もパンフレットが並んでいるほか期間限定イベントなども開催しているようで、訪れた際には地元の工芸品が展示販売されていた。期間限定のイベントは再度訪れてもらうきっかけとしても有効だと感じる。お土産処も訪れてみたが初めて入った人にもわかりやすいように売れ筋ベスト10が掲示されており手に取ってみたいくなる工夫もされていた。蔵の形状はしていないが隣接している「旬菜旬果おいしさ直売所 紅の蔵店」には車がひっきりなしに訪れており、中を除くと地元の野菜や果物、肉、魚が並んでおり、観光客というよりは地元客で賑わっているようだった。

観光客だけでなく地元客にも訪れてもらう視点は長期的、安定的運営に寄与するものと思われる。

日時：令和8年1月30日（金） 13：00～14：30

場所：山形県山形市

調査先：シェルターインクルーシブプレイスコパル

調査内容：①子どもの遊び場・居場所機能について

■概要

PFIにより2022年4月に誕生した児童遊戯施設であり、総事業費は38億5,611万8,065円。事業者は株式会社夢の公園（代表企業：株式会社シェルター）であり、運営は合同会社ヴォーチェと特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会が担っている。

前述したPFI法に基づき、設計・建築の後、市に所有権を移転した上で、運営・維持管理を実施するBTO方式（Build Transfer Operate）により実施。事業者は総合価格一般競争入札で選定された。運営方針は「生きる力」「インクルーシブ」「地域共生」の3つの柱を掲げ、間もなく4年となるが延べ70万人が訪れた。オープンから現在まで利用料は無料とし、自主事業で収入を得ている。

施設内を大きく分けると体育館と大型遊戯場にわかれており、体育館では跳び箱やトランポリン、卓球、縄跳びなどが楽しめるように設置されており、大型遊戯場は「はいはいエリア」「とことこエリア」「わんぱくエリア」にゾーニングされているが年齢制限等はされており、利用する子どもたちは自由にどこでも遊ぶことができる。そのほかにも図書コーナー、図工コーナー、視聴覚コーナー（有料）など様々なコーナーで楽しめる作りとなっている。利用時間は90分となっているが、平日に限り、希望すれば90分延長することが出来ることとなっている。体育館は夕方以降は一般利用も可となっており、貸館事業として収入のひとつとなっている。

利用者の割合は市内2：市外1となっており宮城県から訪れる家族も多いという。

■所感

訪問したのは平日の午後だったが、多くの家族で賑わっていた。ひとつのエリアに集中することもなくどのエリアでも楽しんでいる姿が散見された。

インクルーシブな視点が多く取り入れられていることが特長のひとつであるが、車いすで周遊できるようなバリアフリーな設計はもちろんのこと、遊べる手すりや、横になれるベッドが配置されたトイレが整備されているなど一般的な遊戯施設とは異なる点は本市で整備する際に参考にしたい。

この施設においては細かいルールは存在しない。俗にいう「〇〇禁止」や「以下のルールを守ってください」のような注意書きはない。トンネルのような滑り台もあったが、上から滑るだけでなく、下から登ってきてもいいのだという。子どもたちが勝手に譲り合って遊んでいるため、事故やケガはないのだそう。逆に、付き添いの大人のケガが多いという。これは前日に訪れたバーンフュージョンソライさんからも同様の話を聞いているため、本市でも大人がケガしないための注意書きや周知は必要だと感じた。

SINCE 2018. TSURUOKA YAMAGATA

BahnFusion SORAI

BahnFusion SORAI って？

子どもたちが未来を生きる力を遊びの中で育む全天候型の児童教育施設です。

「新しい世界との出会い」「ないものは自分でつくること」

「生まれ持った感性や表現を自由にひらくこと」を大切に、安心できる環境のなかで、遊びを通して自分らしく挑戦し、世界を広げていく体験が待っています。

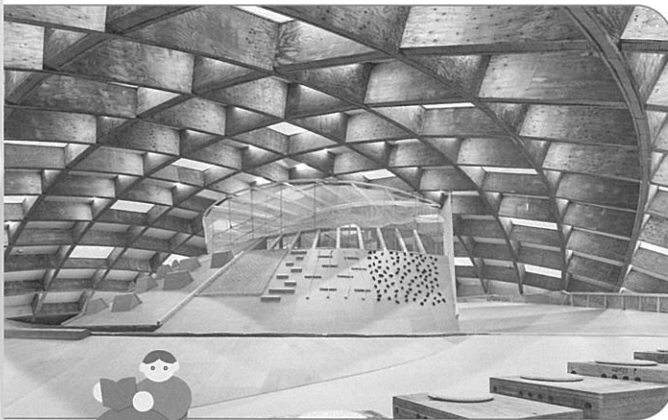


TSUKURU-BA

ツクルバ

約1,000種類の素材と
約200種類の道具が並ぶ
夢のアトリエ。

自分の好きな素材と道具を選んで、自由にものがつくりができます。実際に自分の手を動かして作ってみることで、物の仕組みを学ぶだけでなく、試行錯誤を繰り返しながらやり遂げる体験を積んでいきます。



ASOBI-BA

アソビバ

長さ45mの大斜面や
高さ6mの巨大ネットジャングル
などが揃う、遊びの大空間。

完全オリジナルの遊具でできた遊びの大空間。子どもが自分のベースで行きつ戻りつを繰り返しながら、小さな失敗と成功を体験できるように考えて作られた空間です。未就園児向けのスペースもあります。

そのほか魅力いっぱい！

約800冊の本が並ぶ

ライブラリ

「オトナもコドモ、コドモもオトナ」をコンセプトに、子どもが読む本を決めつけない隠れ家の図書館

もっと「みんな」に開かれたソライへ

みんなのSORAIプロジェクト

経済・環境・心理的な障害を取り除き、誰もがさらに安心して活動できるソライを目指すプロジェクト

“自治る”学童

SORAI 放課後児童クラブ

「ツクルで世界は変わる」の理念のもと、子どもたちが自分たちの手でつくる学童

自分をツクル学びの場

SORAI SCHOOL

子どもの「やりたい!」を原動力に、自分でつくることを大切にするフリースクール

＼ 今日は何する？ /

SORAIの遊び方

- 1 なんでもチャレンジしてみよう
- 2 おどろきを探そう
- 3 アイデアをかたちにしよう
- 4 ないものはつくろう
- 5 安心して自分をみせよう
- 6 しらないわからないを
楽しもう



開館時間	月	10:00~18:00
	火	15:00~18:00
	水	休館日
	木	15:00~18:00
	金	10:00~18:00
	土	10:00~12:00
		・ 13:30~15:30
	日	16:00~18:00

ご注意

- 平日は予約・時間制限はありませんが、長期休暇期間中は2時間制になります。詳細はHPをご確認ください。
- 2時間制の日は、お客様の入館時間に限らずご利用終了時間は変更いたしません。ご了承願います。
- 土日・祝日や長期休暇期間中は大変混雑しますので、事前のご予約をおすすめしております。

ご予約

下記のQRコードよりご予約をお願いいたします



個人料金

入館区分	年齢	入館料
体験者本人	0歳	無料
	1歳	500円
	2歳	700円
	3歳~大人	1,500円
保護者・付添	大人	500円

※フリーバスをお持ちの場合、大人1人の付添で子ども(中学生)3人まで無料。4人目からは通常料金

団体料金

入館区分	年齢 対象	[A]アソビバ+ツクルバ		[B]アソビバ
		一般団体	特別団体	共通
体験者本人	0歳	無料	無料	無料
	1歳	400円	400円	150円
	2歳	600円	500円	200円
	3歳~小学生	1,400円	500円	500円
	中学生・高校生	1,400円	500円	-
	大人	1,400円	1,400円	-
引率者・同伴	大人	400円	400円	500円

【一般団体】幼稚園、保育所(保育園)、認定こども園、小学校、特別支援学校、放課後児童クラブ(学童)児童館、子ども会、スポーツ少年団、青少年団体、町内会、PTAなど 【特別団体】鶴岡市、酒田市、三川町、庄内町、遊佐町の一般団体



ACCESS

- 鶴岡駅から自動車で6分
- 鶴岡駅から徒歩25分
- 鶴岡ICから自動車で8分

150台の無料駐車場完備
(SUIDEN TERRACEと共用)



〒997-0053
山形県鶴岡市北京田字下鳥ノ巣6-1
TEL 0235-26-8801
MAIL info.sorai@shonai.inc

WEB SITE



Company_ 2-6

会社・組織について

- VISION
- MISSION
- VALUE
- 代表Message
- グループ概要

Business_ 7-25

事業紹介と今後の展望

- 資金調達
- 業績推移と展望
- Public Relations 実績
- 私たちのストーリー、及び戦略
- グループ会社の紹介

Environment_ 26-31

働く環境について

- 経営体制
- 経営のプロチーム体制
- 社員紹介
- 社員の主な経験・資格
- 評価制度
- 働き方・福利厚生
- 拠点紹介

地方の希望であれ

Be hope for Local.

希望とは、誰かが照らしてくれる光ではなく、自らが当事者として行動することで生み出す光だと、私たちは考えます。

庄内から挑戦する当社の姿勢や実績、提供するサービスを通じて、他の地方で挑戦する当事者に貢献し、

日本の地方からより多くの希望を創出します。

地方の可能性を世界経済とつなぐ

私たちは、成長市場である農業と観光を起点に、地域の資源を世界のニーズと接続することで“外貨”を獲得し、地方に新たな経済循環を生み出します。

さらに、地方企業に必要な経営OS——人的資本・金融資本・社会資本——を提供する成長支援事業を通じて、地域経済の底上げを図ります。

そして、得られた成果を未来を担う世代への“教育投資”として還元する。

この「外貨獲得」と「教育投資」の両輪こそが、SHONAIが考える地方の生存戦略です。

地域と世界をつなぐ経済の架け橋となり、地方の可能性を最大化する。それが、私たちの使命です。

- 常に、前へ
- 組織で勝つ
- 自己確変

会社名	株式会社SHONAI
設立	2014年8月6日
代表者	山中 大介
役員構成	取締役副社長 富樫昌文 取締役 坂本大典 取締役 高木新平 取締役 南塚正人 監査役 三井睦貴 アドバイザー 齋藤 剛
本社所在地	山形県鶴岡市北京田字下鳥ノ巣23-1
資本金	9,500万円
資本調達金	64億8836万円(グループ含む)
グループ会社	株式会社LOCAL RESORTS 株式会社NEWGREEN 株式会社NEWGREEN SUPPLY 株式会社XLOCAL 株式会社SHONAI ESTATE
グループ従業員数	263人
本社オフィス	山形県鶴岡市播磨字若松51-1
東京オフィス	東京都港区虎ノ門4-1-40



代表挨拶

“ 前へ。 ”

地方は希望に溢れています。しかし、その希望は、誰かが照らしてくれる光ではなく、自らが当事者として行動することで生み出す光だと、私たちは考えます。

SHONAIグループの提供する価値とは即ち「地方が勝つための戦略」そのものです。日本の典型的な地方都市である庄内から、当社が当事者として生み出す戦略は、全国の道標となり、日本の地方からより多くの希望を創出します。

今、求められることは、未来を悲観/批評することではなく、一人一人が圧倒的な当事者となり、具体的に行動することです。

地方から世界へ。逆境を楽しみ、前へ。

私たちと共に挑戦する仲間を、いつでも募集しています。



株式会社SHONAI
代表取締役 山中大介

グループ 資金調達額 2025年9月末時点

64億8836万円

地域に縁のある有力企業や、展開する各事業とシナジーがある企業と事業資本提携を結び、地方の価値を共創しています。



中部電力

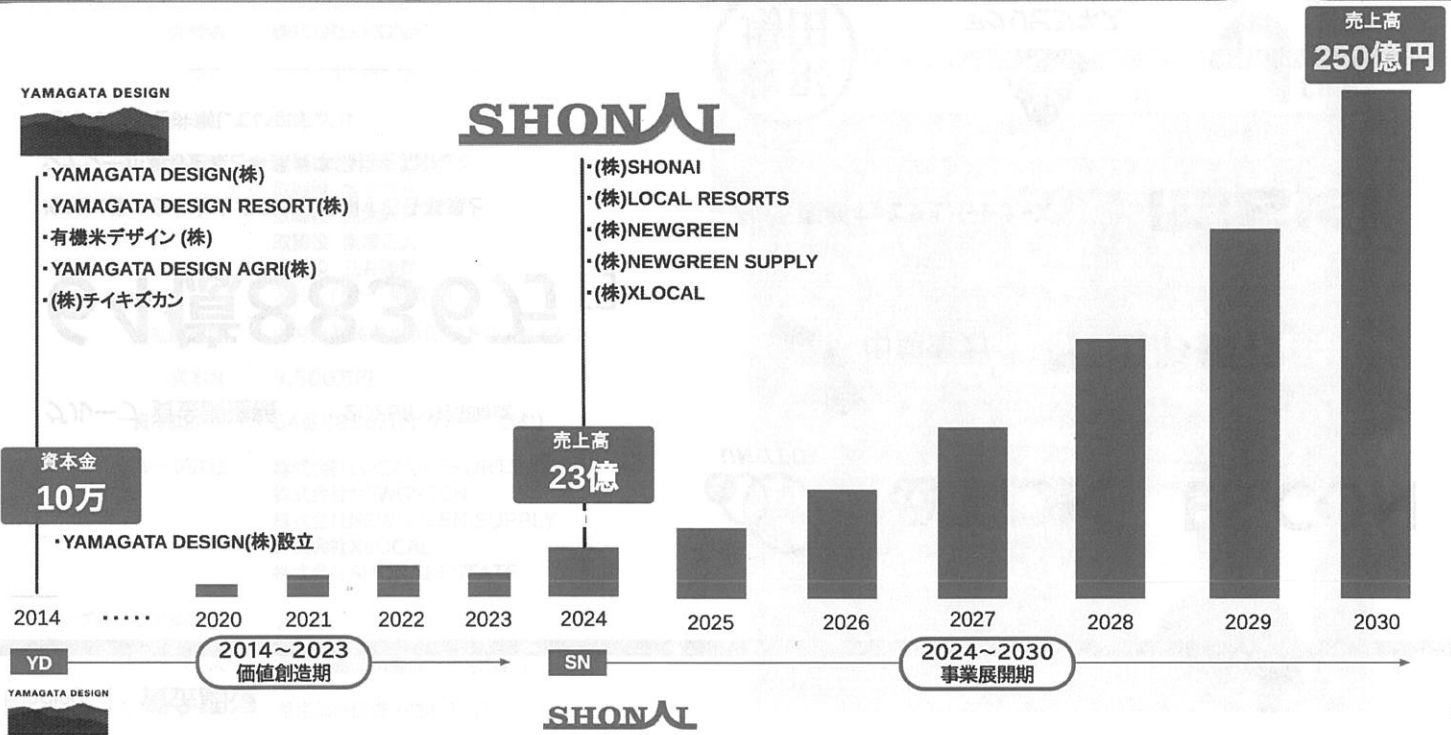


南都キャピタルパートナーズ



アグリビジネス
投資育成株式会社





※直近3年間のSHONAIグループにおける実績及び予定

メディア

230件

ガイアの夜明け
カンブリア宮殿
THE MAKERS など



視察

200件



登壇

350回



受賞

第17回 ニッポン新事業創出大賞
『最優秀賞(経済産業大臣賞)』
『地方創生賞』W受賞
第4回 日本サービス大賞
『地方創生大臣賞』受賞、他

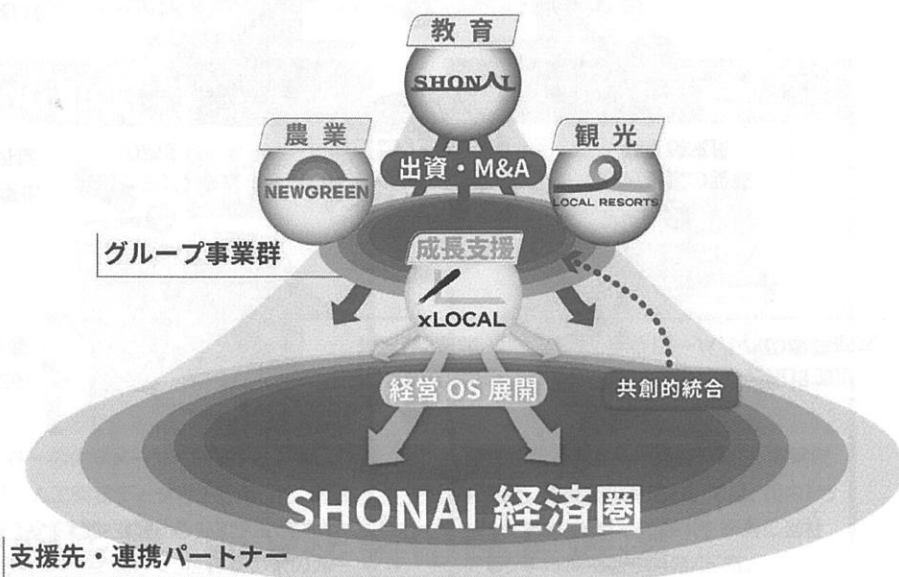


地方創生の答えを出そう。

2014年、資本金10万円で山形県庄内地域に設立したSHONAI。
超人口減少地域、ビジネス環境として恵まれていない場所から、
揺るぎないビジョンと明確な戦略で、幾多なる課題を乗り越え成長してきました。
そして、私たちSHONAIは、2030年に上場します。
この物語を求心力とし、同時に、この挑戦で得た地域企業の経営OSを展開し、
地方企業の意識と戦略を変えて、非連続な成長を各地で起こします。
2040年までに100億企業を1000社、つまり10兆円の経済循環を生み出します。
地方という環境に言い訳せず、その地に眠る可能性を信じ、
リスクを恐れずに前進する企業群を新たな経済圏としてつないでいく。
それが、SHONAIが未来につくる地方創生の答えです。

SHONAI 経済圏の創造

SHONAIは、今後の成長市場である農業と観光領域で、事業展開とM&Aを推進します。圧倒的スピードで売上100億を達成すると共に、その経験に基づく成長支援を実施。地方企業に必要な経営OS(人的資本・金融資本・社会資本)を展開し、全国各地に100億企業を1,000社つくります。この地方の希望となる経済圏を創造することで、本物の地方創生を実現します。



SHONAIから始まる、地方企業の成長循環

SHONAIの経営OS

人的資本

成長を実現するための戦略構築やそれを遂行するために必要な経営能力・スキル・ノウハウ・経験・クリエイティビティ等、生産性や競争力に貢献する高度な人的資本の活用

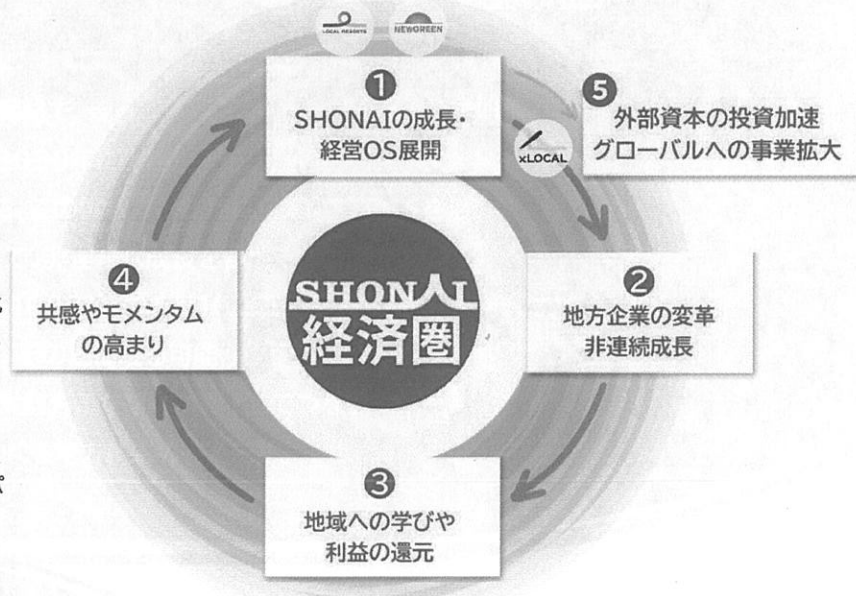
金融資本

成長を実現するための最適な資本政策、新規事業・大規模化・経営合理化を図るための資金調達やM&Aを活用した外部企業との事業資本提携の実現など金融資本の活用

社会資本

成長を実現するための広範囲でのネットワーキングおよびパブリシティを通じた社会への発信、自社ブランディングやVISIONの言語化に伴うソーシャルリレーション向上など社会資本の活用

SHONAI

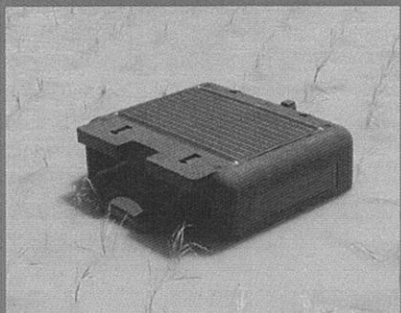


12

NEWGREEN

日本の米の可能性を最大化し、世界の成長するグリーン市場を戦略的に攻める

I アイガモロボ



自動抑草を行うアイガモロボの開発/製造。除草工数の低減、メタン削減、ジャンボタニシ抑制のニーズを捉え、国内外の連携企業と共に販売。2025年に製造、発売した1,000台は即完売。

II NG RICE プラットフォーム



世界一の化学メーカーBASFと連携し、AIと人工衛星データ等を活用した、営農/流通/認証を支援するシステムを開発/販売。本PFを通じて、世界初の米のカーボンファームングプログラムを実装し、農業用資材の提供、米穀の流通を加速。

III コメ/加工品 販売



全国の農業者から米穀を集荷し、実需家に販売。有機米集荷においては、国内トップシェア※を誇り、有機米を原料に当社オリジナル加工品を開発/販売。
※当社調べ

13

雑草対策の新常識。スマート水田ロボ。

太陽光で稼働し、水田を自律走行。
雑草を抑制しながら水と土を攪拌、除草作業を大幅軽減。
有機農家から慣行農家まで導入が進む。
研究成果をもとに国プロにも採択され、社会実装を加速中。

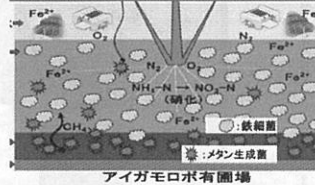
導入実績・研究連携・展開

- ・2023年:初号機500台完売(販売元:井関農機)
- ・2025年:改良型1,000台完売
- ・ロボット大賞 農林水産大臣賞 受賞
- ・農研機構・東北大などと連携し副次効果も検証中
 - ↳ 水田から発生するメタンガスの抑制
 - ↳ ジャンボタニシ食害の低減
- ・国際会議での紹介・展示実績多数
 - ↳ 2023 G7農業大臣会合(右下写真)
 - ↳ 2025 COP30・APEC(予定)
- ・ベトナム・フィリピン・インドネシア・台湾等で実証展開中

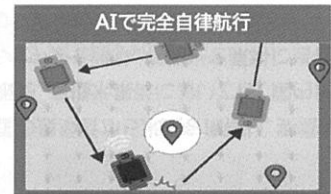
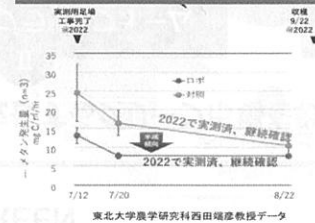
価格:27.5万円(税込)
推奨面積:0.5~1.5ha



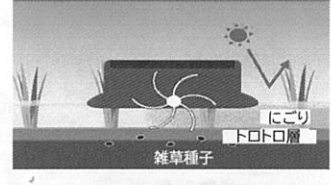
ジャンボタニシの被害を大幅減



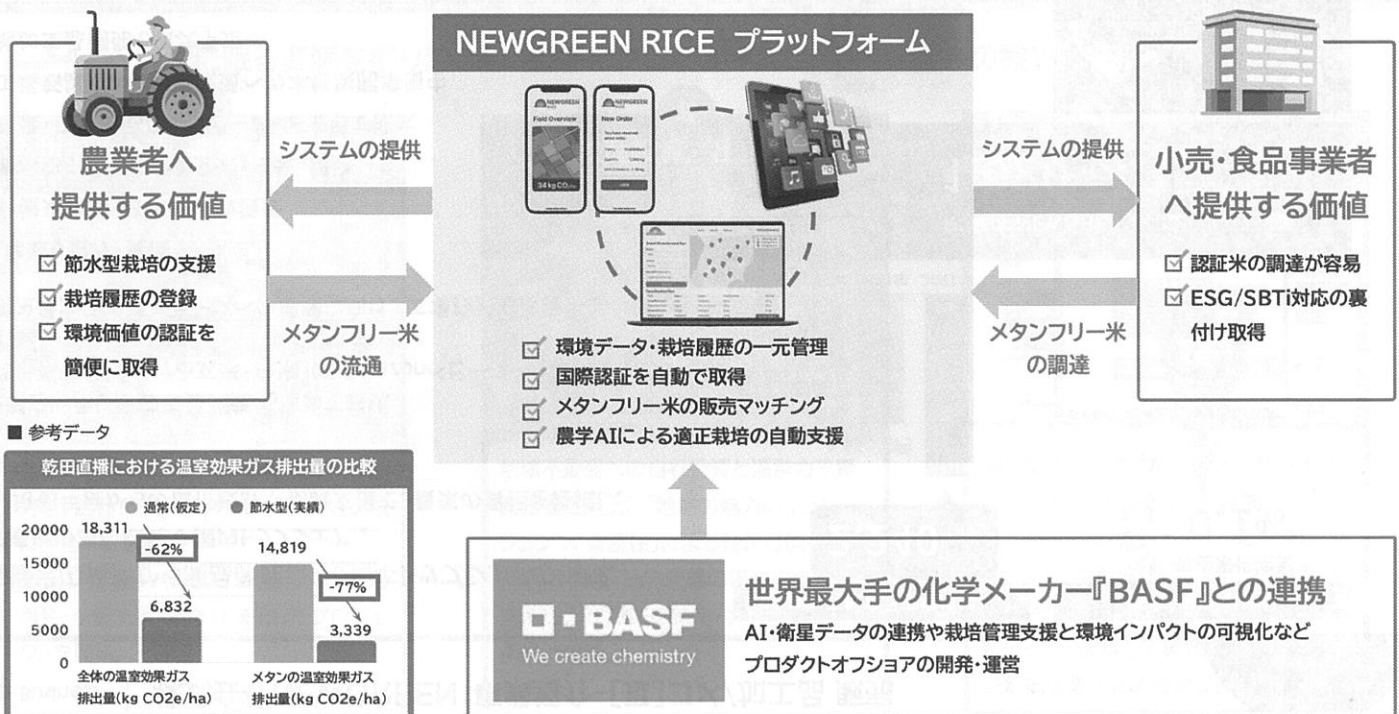
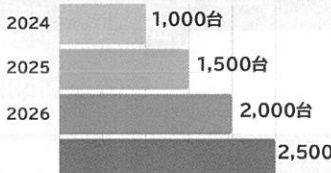
ロボ導入でメタン半減傾向を確認



水の「にごり」で雑草抑制



国内市場におけるロボ販売計画



有機米の集荷から商品開発まで。日本トップシェアの挑戦。

有機米の集荷販売で **国内トップシェア**。

栽培初年度からの価格設計や物流支援で、農家の負担を軽減し、有機米の安定供給体制を構築。

原料を活用した **加工品開発** も進めており、

第一弾商品「とろける玄米・白米」は Amazonベビーフード部門で1位獲得。

国内最大手小売チェーンへの展開に向け、工場投資も進行中。

主な取り組み・実績

- ・有機米集荷: 日本一の取扱量
- ・商品第1弾「とろける玄米・白米」開発
- ・高級・自然食品店、ベビーフード市場で拡大
- ・工場新設による大手流通への本格展開準備中
- ・他加工品開発も順次予定

国内有機食品市場規模



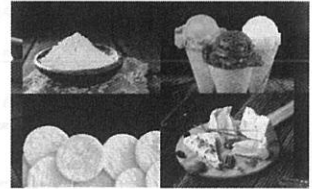
国内有機米供給量



R7年度 NEWGREEN 有機米流通予定量

1,020 トン

※当社調べでは国内トップシェア



地域に眠る資源を掘り起こし、価値をプロデュースし、国内外からの観光客や投資を呼び込む

**I
ホテル企画・運営(新設・再生)**



地域に新たな目的地を創出するホテル開発を、自社ブランド「スイデンテラス」を核に全国へと展開。

さらに「オーナー共創モデル」による経営再生・企画支援・運営最適化したプロジェクトを開始。

**II
不動産投資/出口戦略**



地域不動産への自社投資と運営力で資産価値を向上。「地域の魅力のキュレーション × 資産性」による持続可能な出口創出に加え、地方企業の事業拡大を見据えたCRE戦略の策定・実行までを一気通貫で支援。

**III
海外富裕層マーケティング**



海外富裕層へ向けたラグジュアリーリゾートに特化したメディアを展開。日本のホテル/旅館オーナーと連携し、セレクトティブな宿泊体験を創出/情報集約し、海外富裕層特化のマーケティング/営業チームを組成して集客。
※新規事業(M&A資本提携領域)

新築ホテル開発・運営



農業をコンセプトに据えた着地型ホテル
「スイデンテラス」を全国へ拡大展開

「何もない」と思われていた地域の中に眠る魅力を掘り起こし、その土地ならではの体験価値を提供することで、年間6万人を集客する成功モデルを築いた「スイデンテラス」。このノウハウを活かし、地域資源の可視化と魅力の再編集を通じて、地域に新たな目的地を創出するホテル開発を、自社ブランド「スイデンテラス」を核に全国へと展開していきます。

既存ホテルの再生・開発・運営

ii 時 ii 地 ii 人 ii
MATSUYAMA



地域の魅力を耕し、編集し、表現する
ホテル・旅館の新たな再生モデルを始動

地方の旅館・ホテルが抱える人材不足や施設老朽化、需要変化への対応遅れといった課題に対し、当社は「オーナー共創モデル」による経営再生・企画支援・運営最適化を展開しています。その第一弾として、愛媛・砥部町のオーバーレジユを『時地人 - JIJIJIN

Matsuyama』としてリブランドオープン、運営承継後には売上が前年同期比で2倍以上を達成。地域資源を活かした企画力と売上・顧客・従業員満足度を高める運営力を強みに、今後も全国で持続可能な観光の再構築を推進していきます。

地方不動産のバリューアップ



地域の魅力を発掘し、アセット投資
運営付きで価値を見える化

地域に眠る魅力ある不動産に自ら投資。投資による付加価値づけに加え、運営力も付加して国内外の投資家に提供します。単なる不動産売買ではなく、「地域の魅力のキュレーション × 資産性」によって、投資家にとっても地域にとっても持続可能な価値を実現します。

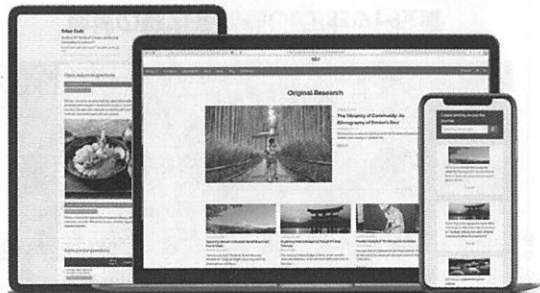
地方企業CRE戦略



ワンストップで行う
「攻め」のCRE戦略の策定と実行

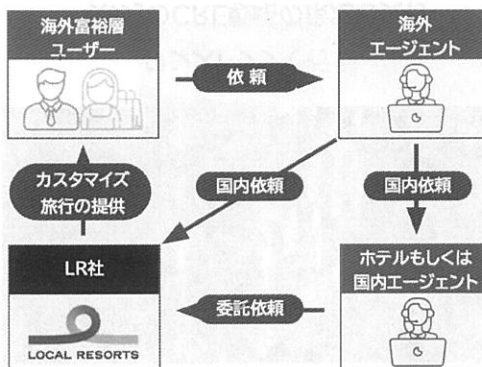
地方企業が事業拡大するにあたり、首都圏・グローバルの営業拠点や出張者の滞在拠点・福利厚生拠点の取得ニーズ、また純粋な不動産投資による経営基盤の安定化ニーズ、遊休不動産の処分ニーズなど、大手仲介会社、税理士法人などと連携し、戦略的な不動産アドバイスとワンストップの実行支援を行います。

メディア/旅行業



ラグジュアリートラベルに特化した海外旅行者向けキュレーションメディアを展開。特に日本の地方×海外富裕層のタッチポイントを創出。更に、当社グループのネットワークを活用し、地方観光施設・宿泊施設と提携、文化・歴史・自然・食を体感する、hidden japan をコンセプトとした、シークレットツアーを提供します。

ランドオペレーター



国内ラグジュアリーホテルのバックヤードで旅を手配を行うコンシェルジュサービス。特に、海外旅行者にとって手配が難しい地方旅行での宿・交通機関の手配を代行。また、海外のトラベルカンパニー・インフルエンサー等パートナーと連携し、富裕層と親和性の高い旅行体験を短期間でアレンジします。

xLOCAL

SHONAIの知見を活かし地方企業から100億企業を増やす

I チキズカン

複業プロ人材登録者数
10,000名突破

100億企業を目指す地方企業登録する、経営支援プラットフォーム。複業人材を活用した経営チームの組成、プロジェクト管理に加え、経営の課題を解決する学びのコンテンツを得ることができる。

II 共創支援



100億以上の厳選された地方企業に対し、XLOCALチームが直接経営を支援。ファイナンス/M&A戦略の構築、攻めの経営管理体制の構築、新規事業の立ち上げ支援、経営幹部の育成研修など幅広い領域で地方企業を支援。

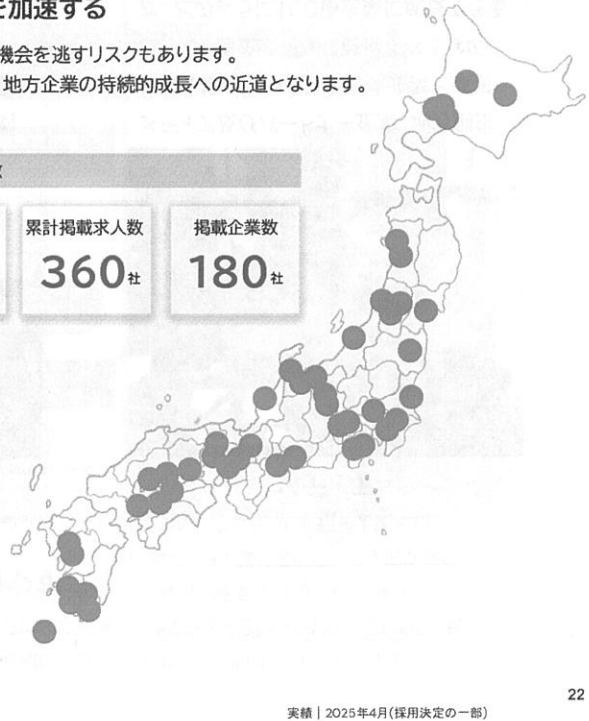
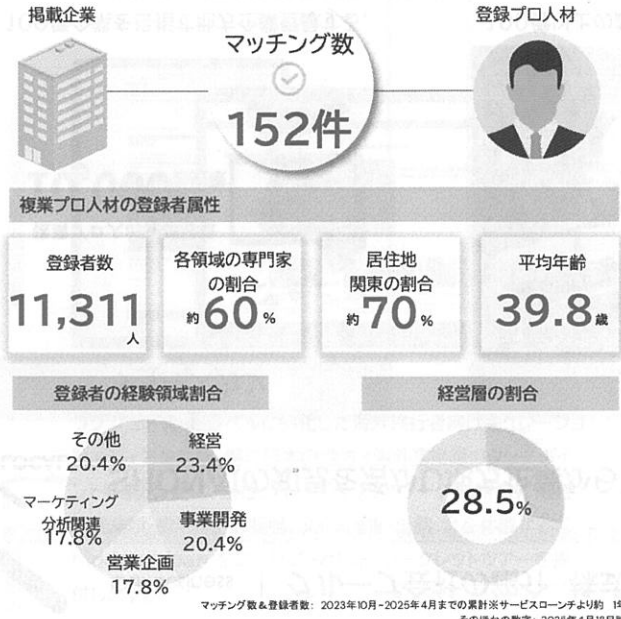
III メディア



メディア及びパートナー企業、地方創生に取り組みたい行政及び大企業と連携し、100億企業をなぜ目指すべきなのか、どのように100億企業に成長できるのかを学べる、メディア、スクール事業を展開。※新規事業

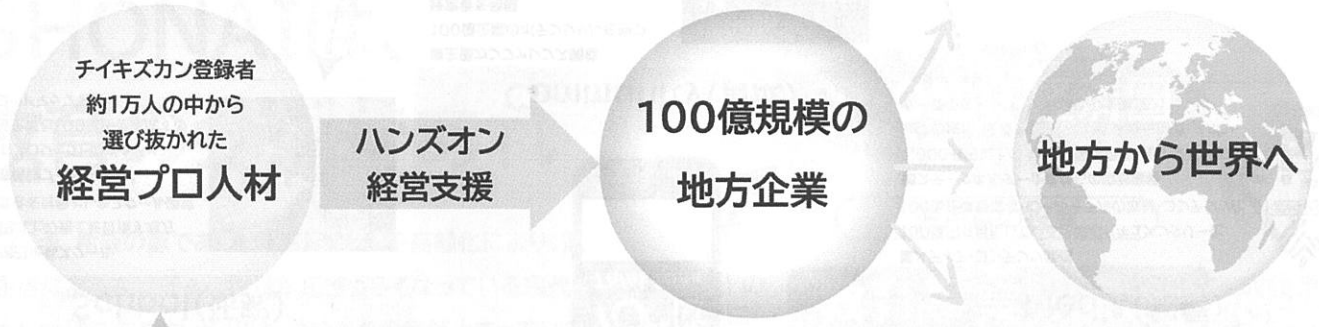
複業プロ人材を活用して、企業成長を加速する

経営課題に対処する際、内部リソースのみで解決しようとする、時間とコストがかかり、成長機会を逃すリスクもあります。
 だからこそ、まずは複業プロ人材を活用し、スピーディかつ効果的に課題解決を進めることが、地方企業の持続的成長への近道となります。



実績 | 2025年4月(採用決定の一部)

100億以上の規模の企業に対してXLOCALの専門チームとプロ人材が連携して経営支援



経営プロ人材	経営支援領域
<ul style="list-style-type: none"> ■チイキズカン連携人材ネットワークを活用し 実行部隊を編成 ・登録者数1万人 ・その中からさらに厳選された最上位人材を選出 <ul style="list-style-type: none"> ↳ CEO経験者、IPO実務、M&A実行、DX、事業開発、ブランディング、資金調達領域などのハイレベルな人材 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略策定 ・新規事業開発 ・ブランド/PR ・コミュニケーション戦略 ・M&A戦略の構築 ・経営管理体制の構築 ・経営幹部の育成研修
<p>SHONAI役員陣も 伴走支援</p>	

～地方企業から「ネクスト100億円企業」を本気で輩出するプラットフォーム～

企業規模の拡大に精通した専門家や、実際に年商100億円を達成した経営者の協力のもと、継続的なメディア発信を行いながら、100億円以上を本気で目指す経営者のためのコミュニティやスクールも同時に展開。



SHONAIは、 教育の会社であれ

教育こそ、希望の源である。人口減少・少子高齢化により、政治主導による次世代への投資が起きづらくなっている現代。地方に希望を持ってない原因は、教育への投資が止まっていることにある。私たちは事業で得た資本を運用し、得た利益を教育に積極投資していくことで、この流れを変える。SHONAI経済圏の仲間たちも巻き込んでいこう。日本中の子どもたちに自らの世界を広げる機会を提供し、子どもたちは自らの生き方を創造する。SHONAIは教育から地方を日本を変えていく。



■ 施設の紹介

SORAI ツクルで世界は変わる
 当社が開発運営する全天候型児童教育施設『バーンフュージョン ソライ』。さまざまな「ツクル」の体験を通じて子どもの世界を広げ、夢や希望を育むために、子どもが主体的に取り組める環境を提供




アソビバ
 本能のままに体を動かせる、オリジナルのアスレチック遊具を備えた遊び場



ツクルバ
 1200種類以上の素材と道具を自由に使うものづくりができる夢のアトリエ空間



ライブラリ
 創造力をかき立てる本を中心に約800冊が並び、深く没入できる読書空間

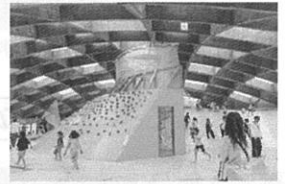
■ 機能・活動の紹介

3つの教育機能

児童館

自ら遊びをツクル／モノ・空間をツクル

自由な発想で遊べる空間に加え、地域や企業と連携したイベントを通じて創造的な学びを地域に届ける場



学童

自分たちの世界／居場所を自らツクル

子どもたちが主体的に運営に関わり、自らの手で放課後時間をデザインする場



フリースクール

自身が主体となって学びをツクル

庄内の豊かな環境の中で主体的に学び、自分らしさに出会う小中学生向けの新しい学びの場



我々は、地域の未来に責任を果たす「企業市民」として事業で得た利益を、次世代や地域の「希望」に投資し続けます。

SORAI無料化

『利益を、未来の教育へ。』2025年10月、当社は鶴岡市在住の子どもを対象に、SORAIの利用料無料化を単独で実現。その想いに共感いただいたBahnFusion社がネーミングライツという形で教育応援に加わり、2025年12月から無料化の対象を鶴岡市から庄内全域へと拡大！



SHONAI政経塾

『地域の未来を動かす人を育てる』。地域経営や官民連携を学ぶ社会人向けオンラインスクール。行政・企業・NPOなど多様な立場の受講生が集い、「自ら地域を変える力」を実践的に学ぶ場を提供。



SORAI夢授業

『夢を描く力を、体験から育む』。子どもたちが夢や目標を見つけ、挑戦するきっかけとなる体験を届けるために、各分野のプロフェッショナルを招いたスポーツイベントやトークイベントを開催。



事業開発のプロフェッショナル



NEWGREEN
代表取締役COO

農業ビジネス・
事業開発

中條 大希



LOCAL RESORTS
代表取締役COO

ホテル/宿泊施設運営・
サービスオペレーション構築

中 弥生



ロボエンジニア

中村 哲也



不動産仲介、投資・
アセット戦略

櫻井 公平

SHONAI取締役



経営・事業開発

山中 大介



財務・経理

富樫 昌文



スタートアップ経営・
事業開発

坂本 大典



ブランド開発・
コミュニケーション戦略

高木 新平

企業スケールのプロフェッショナル



資金調達・資本政策
デューデリジェンス

佐藤 真希子



IPO戦略・
投資家コミュニケーション

齋藤 剛



資本政策・
ネットワーク支援

南塚 正人



企業グロース・
ネットワーク支援

早川 与規

従業員数

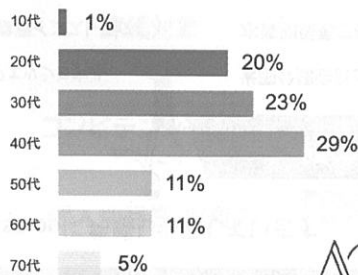
約 **263** 名



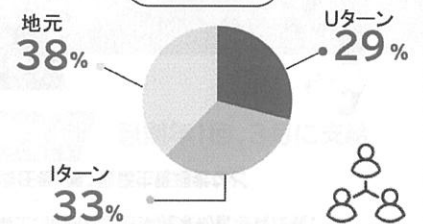
中央年齢値

41 歳

年齢比

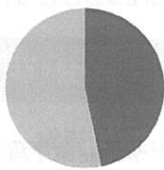


Uターン比

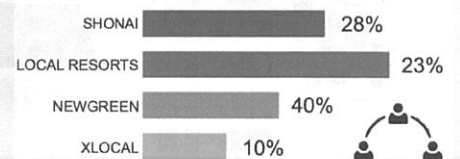


男女比

女性 **53%** 男性 **47%**



各社従業員比



様々な経験と専門性を持ったメンバーが、missionに共感し参画しています。

食・観光

ソムリエ、ワインエキスパート、唎酒師、チーズプロフェッショナル、野菜ソムリエ、米・食味鑑定士、五ツ星お米マイスタ、食育インストラクター、食物調理技術検定3級、調理師免許、食品衛生管理者、ホテルマネジメント、サービス接客検定2級など



経営管理

米国公認会計士、公認会計士、日商簿記1級、弁護士、TOEIC925、水質関係第二種公害防止管理者、建築物環境衛生管理技術者、一級土木施工管理技士、二級建築士、特別管理産業廃棄物管理責任者、甲種防火防災管理責任者、第1種衛生管理者など



教育

保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、中学教諭一種、高等学校教諭、特別支援学校教諭、チャイルド心理カウンセラー、メンタル心理ヘルスカウンセラー、サイエンススクール教室長、海外在住邦人子女向けスクール長など



複業や経験

人事アドバイザー、営業アドバイザー、ブランド戦略コンサルティング、ヨガインストラクター、記者編集者、通訳翻訳家、看護師、消防士、プロスノーボーダー、シンガーソングライター、アート個展、古物美術商、山伏、権彌宜(ごんねぎ)など



ノーレーティング方式を採用し、各自のパフォーマンスや成長度合いに応じて柔軟に還元

昇給

原則4月から適用

昇格

随時、必要に応じて

賞与

原則年1回、3月に支給

評価対象

行動

成果

評価対象

コンピテンシー評価

個人別目標達成度

処遇への反映

昇給(降給)

昇格(降格)

賞与・表彰

庄内の豊かさやグループのサービスを楽しみながら働ける環境が、子育て世帯にも好評です。

働き方

副業可 / フルフレックス* / リモートワーク* / フレックス(長期)休暇* / 服装自由* / 年間休日120日*

*所属部門による

福利厚生

- ・育児介護休暇
- ・慶弔見舞金
- ・グループ内交流イベント補助金
- ・生活クラブ利用料補助
- ・ストックオプション*
- ・選択制確定拠出年金*
- ・Uターン移住サポート(住まい探し、行政補助金など)

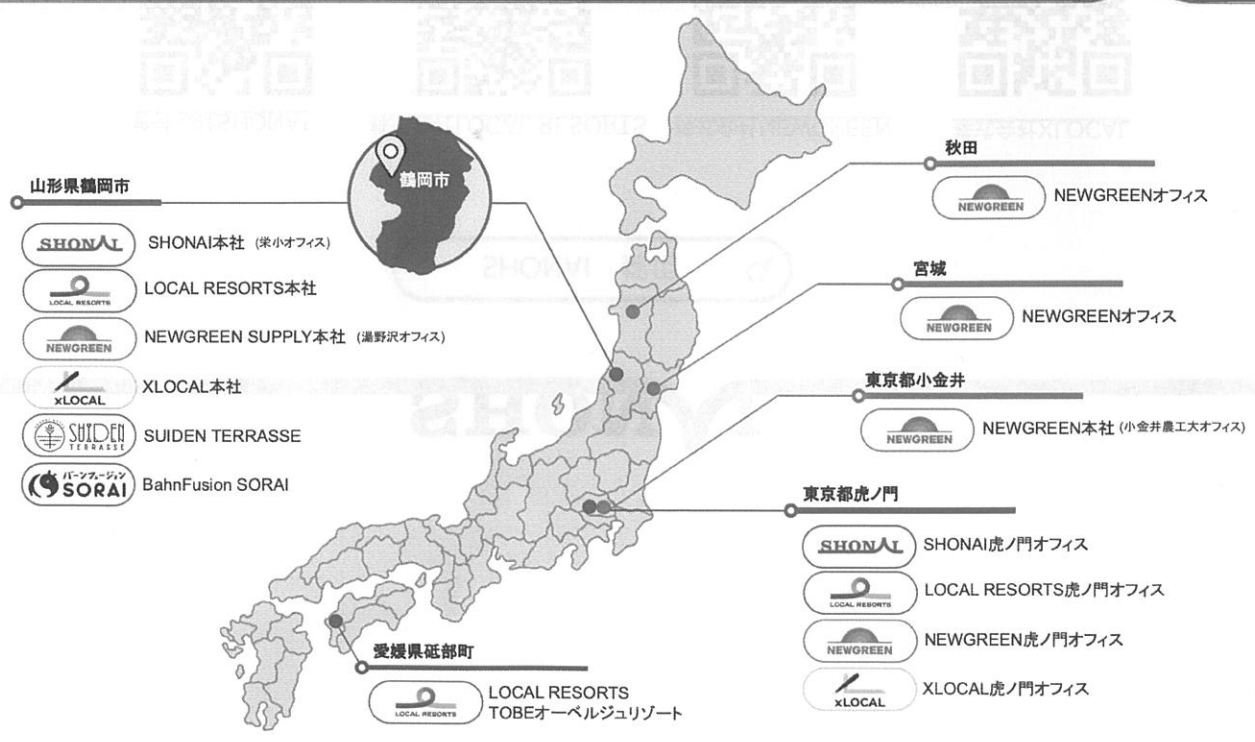
*所属部門による

- ・スイデンテラス スパ、フィットネス、サウナ無料
- ・スイデンテラス宿泊、レストラン優待価格
- ・BahnFusion SORAI優待価格
- ・企業主導型保育園(やまのこ保育園)連携企業枠*
- ・SORAI放課後児童クラブ/SORAIスクール利用枠*

*募集人員による



Base | 拠点紹介



SHONAI

SHONAI 採用 🔍

株式会社SHONAI



株式会社LOCAL RESORTS



株式会社NEWGREEN



株式会社XLOCAL





鶴岡市ごみ焼却施設（愛称：つるおかエコファイア）

施設設置：鶴岡市

施設運営：つるおかエコ・アース株式会社

<沿革>

平成元年度：旧施設の供用開始（165t/日）

・旧施設の運転期間（H元.10月～R3.1月：32年3ヶ月）

平成12年度～14年度：ダイオキシン類削減対策工事

平成23年度：精密機能検査の実施

平成24年度：長寿命化計画の策定

平成25年度：熱回収施設整備基本構想の策定

平成27年度：施設整備基本計画の策定

平成29年度：施設整備・運営事業者の決定

平成30年度～令和2年度：新施設本体建設工事

令和3年4月：新施設の供用開始

令和3年度～5年度：旧施設解体工事

令和5年11月：新施設の愛称決定「つるおかエコファイア」

令和6年度：外構整備工事（H30～R6総事業費 約141億円）

<事業概要>

○新ごみ焼却施設本体工事

事業方式：公設民営（DBO方式…設計、建設、運営を一括発注）

※民間事業者のノウハウを活用し、運営・維持管理を考慮した設計・建設

設計・建設期間：平成30年4月1日～令和3年3月31日

※受注者：日立造船・佐藤工務・鶴岡建設JV、工事費：129億9,797万円（施工監理含む）

施工監理委託：八千代エンジニアリング 1億8,489万円（国庫補助金33億1,990万円）

運営期間：令和3年4月1日～令和23年3月31日

※つるおかエコ・アース株式会社（SPC…特別目的会社）

契約額（20年間）：85億2,830万円（ごみ量、物価により変動）

○旧ごみ焼却施設解体工事

工事期間：令和4年1月27日～令和6年3月22日

※受注者：佐藤工務、鶴岡建設、佐藤組JV 工事費：8億9,904万円

R3年度第1期工事は(株)佐藤工務（国庫補助金 2億9,223万円）

○外構整備工事

工事期間：令和6年5月23日～12月27日

※受注者：(株)佐藤工務、配工電気(株)、山形空調(株) 工事費：2億4,162万円

鶴岡市ごみ焼却施設
つるおかエコファイア



<施設概要>

焼却施設：ストーカ式焼却炉

処理能力：160t/日（80t/日×2炉）

余熱利用設備：蒸気タービン発電（出力3,020kW）、ロードヒーティング

発電量：年間約20,000MWh（一般家庭約6,700世帯相当）

発電した電気の1/3を場内消費（つるおかエコファイア、し尿処理施設）

残り2/3を余剰電力として売電。小中学校等に電力を供給する電力の地産地消を実現

ごみ搬入実績：37,411t（R6年度実績、三川町含む） 計画ごみ量 42,948t

鶴岡市ごみ焼却施設余剰電力の地産地消事業

令和8年1月
市民部環境政策課

【取組概要】

令和3年4月に『ゼロカーボンシティ宣言』を行った本市では、同月より稼働を開始した新しいごみ焼却施設（つるおかエコファイア）でごみ焼却により発生する熱を利用して発電を行っており、施設内で電力を利用するほか、余剰電力は売電し、「非化石価値」を付加し「CO2フリー電力」として小中学校など市内の公共施設に電力を供給する「電力の地産地消」に取り組んでいます。また、余剰電力の売電による財源の確保、電力の地産地消による環境教育の推進など、ごみ焼却発電電力の有効活用を図ります。

【事業スキーム】 R6年度実績 **ごみ焼却施設 発電量 年19,200MWh**

自家消費
【約1/3】



余剰電力
【約2/3】



売電量：年12,300MWh 売電収入 2億2千万円

バイオマス系発電【FIT】
【約60%】年約7,200MWh
売電収入（R5）1億2,900万円
（R6）1億3,400万円

【FIT】固定価格買取制度

東北電力ネットワーク(株)に買取義務がある。
20年間1キロワット時あたり18.7円の買取が確約されている。

売電 廃プラ系発電【非FIT】
【約40%】年5,100MWh
売電収入（R5）9,300万円
（R6）8,600万円

1キロワット時16.5円で契約

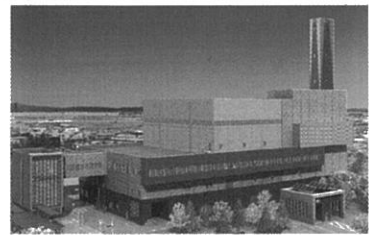
(株)やまがた
新電力
との契約



買電 小中学校（30校）
廃棄物処理施設（3施設） 年4,600MWh

※非FIT非化石証書付き電力の供給

※非化石電源で発電された電気から環境的な価値を切り離し証書化したもの。産地（発電元）を特定できる。



年間

6,900MWh

ごみ焼却施設
し尿処理施設

旧施設では1億1千万円かかっていた電気料金が0円となっている。



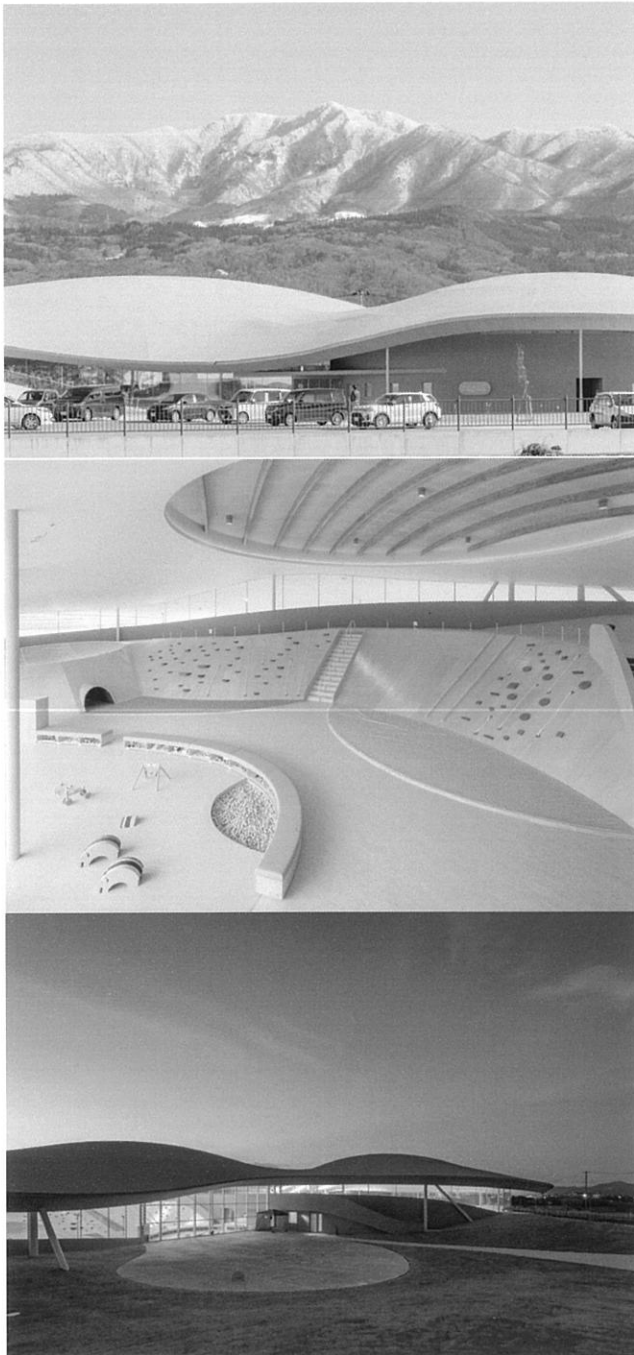
生きる力を育む

『シェルターインクルーシブプレイスコパル』

PFIによる新たな公共施設として、

設計・施工・運営・維持管理・行政がともに可能性を探り、
2022年4月山形市に誕生した児童遊戯施設です。

すべての子どもたちが
互いを認め合い、楽しく遊べる場に



copal ってどんなところ？



心・個々
この場所
こども

友達
parco(公園)

人々が集い友達と遊び学ぶ場所、心を豊かに個々の可能性を育み、ここから多様性を発信していきたいという思いが込められています。

■ 施設概要

敷地面積 22,295.30 m²

建築面積 3,334.81 m² / 延床面積 3,175.90 m²

構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨造（一部木造屋根）、2階建て

事業概要

■ 施設の種別

児童厚生施設（児童福祉法第7条） / 子育て支援センター（児童福祉法第6条の3第6項）

■ 運用期間

令和4年度～令和18年度（15年間）

■ 事業者（SPC）

株式会社夢の公園（代表企業：株式会社シェルター）

【建設】(株)シェルター / (株)高木 / (株)Otias / 石川建設産業(株) / (株)タカハシ電工

【設計・工事監理】(株)オープラスエイチ

【維持管理】ALSOK山形(株) / 太平ビルサービス(株)山形支店

【運営】合同会社ヴォーチェ / 特定非営利活動法人生涯スポーツ振興会

【協力企業】学校法人龍華学園 / ミュージックセキュリティーズ(株) / (株)タイトー

■ 施設の名称

南部児童遊戯施設

愛称「シェルターインクルーシブプレイスコパル」（ネーミングライツ約15年・年間100万円）

■ 総事業費

3,856,118,065円

山形県住宅供給公社による立替施行：530,922,364円（市で債務負担を設定し、整備完了後10年割賦返済）

PFI事業契約による設計・建設：2,048,826,591円（市で債務負担を設定し、整備完了後15年割賦返済）

*国庫補助 厚生労働省：次世代育成支援対策施設整備交付金：8,696,000円（子育て支援センター部分の建築費が対象）

*起債 社会福祉施設整備事業債（充当率80%）：6,900,000円

PFI事業契約による運営・維持管理：1,276,369,110円 ※年額 85,360,000円（市で債務負担を設定）



コンセプト

- 1 自然と遊びが生まれ、想像力が培われる場
- 2 「やってみよう！」の気持ちを応援する場
- 3 五感を大切に、感性を育む場
- 4 未知の知と出会い、冒険心を養う場
- 5 多様性を認め合い、誰もが仲間になれる場

屋内型の児童遊戯施設はどうして整備されたのか？

山形市には、雨天時や冬期間に子どもたちがのびのびと遊べる施設が少なく、子育て中の保護者から屋内型の児童遊戯施設に対する多くの要望がありました。

これらの要望を受けて、市内北部の樋越に児童遊戯施設「べにっこひろば」を整備しました。当初の計画では年間18万人の利用者を想定していましたが、平成26年12月24日のオープン1年目で約30万人、2年目以降も年間25万人以上が来場し、市内の子育て支援拠点として大いに活用されていました。しかし、休日を中心に多くの利用者が訪れるため混雑の解消が求められ、また、市全域における子育て支援機能を更に充実させるため、市南部への設置も望まれていました。

そこで、平成27年度に策定した「山形市発展計画」において、重点施策の一つである「子育てしやすい環境の整備」の主要事業として「市南部への児童遊戯施設整備事業」を位置付け、新たな子育て支援拠点として市南部に整備することになりました。

整備手法

1. 山形県住宅供給公社と「山形市南部への児童遊戯施設整備事業に係る業務の立替施行に関する基本協定」及び「用地取得業務」「造成工事等業務」についての実施協定を締結し、用地取得から敷地造成までを一括して、公社の立替施行により実施。
2. 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（PFI法）に基づき、設計・建設の後、市に所有権を移転した上で、運営・維持管理を実施するBTO方式（Build Transfer Operate）により実施。事業者は総合評価一般競争入札で選定。

■スケジュール（山形市）

平成28年度：基本構想

平成29年度：PFI導入可能性調査

平成30年度：土地収用法に基づく事業認定、農振除外、農地転用、開発行為、用地取得
PFI実施方針・要求水準書策定、特定事業選定

平成31年度：造成工事

令和元年度～：入札公告、PFI事業者決定、基本設計・実施設計

令和2年度：実施設計、建設工事

令和3年度：建設工事（R4.3.24完了）

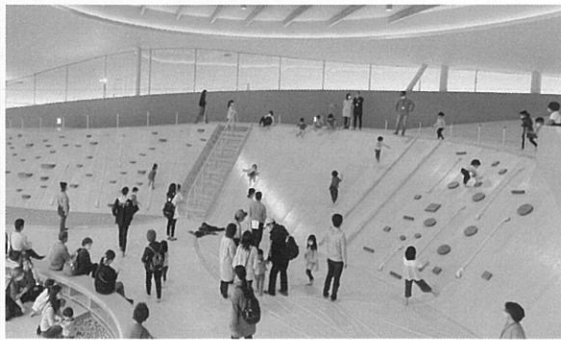
令和4年度：供用開始（R4.4.18）

令和4年度～令和18年度 PFI事業者（15年間の施設運営・維持管理）

インクルーシブ



生きる力を育む遊び場



野山で自由に遊びを発見するように

○『ここなら上れるかな、滑れるかな』と遊びのなかで、自ら考え・学び・判断する力を養ってほしい。

○それぞれの背景・能力に応じてチャレンジして、成長してほしい。

○やってみたい！の好奇心を育てたい。



年齢ごとのエリア分けなし

遊び方を固定しない

インクルーシブな遊び場とは

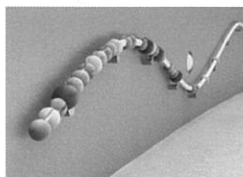
性別や年齢、人種・国籍の違い、障がいの有無など、異なる背景や特性をもつ人々が互いを認め合い、ともに遊べる場所。誰にとっても心地よい居場所に。

○○さんの笑顔のために

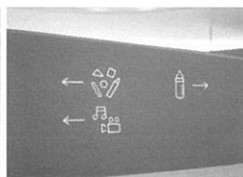
異なる立場・背景を知る

お互いを思いやる

みんなの笑顔に



手すりが必要な人に気づけるように、o+hによって設計された遊べる手すり。



誰にとっても分かりやすいようにデザインされた館内のピクトグラム。



開館前に開催したブルーベイベントイベントで完成しましたゆずりあい駐車場。



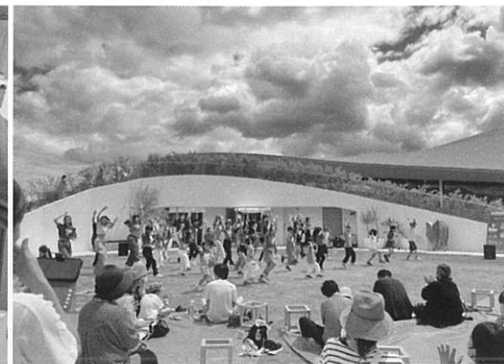
車椅子ブランコをはじめ、インクルーシブな遊具が並ぶみずのひろば。

市民ワークショップ

地域のみなさん（個人・団体・企業）が、来館するお子さんや保護者を対象として開催するワークショップです。開催費は材料費などの実費分のみとなり、当施設のコンセプトに沿った内容で企画をしていただきます。2024年度は、月に2～4件・約20名の講師のみなさんが活躍されます。



地域で子どもを育てる



←アテンダントさんは緑のエプロンを着用し、各々好きな活動（読み聞かせ、掃除、整頓など）をします。活動日は申告制で、毎週・月に1回とさまざまです。

アテンダント

アテンダントとは、コパルの使い方や遊びのすばらしさを子どもたちに伝えながら、来館者のサポートをしてくださる有償ボランティアです。年2回募集しており、アテンダント養成研修を受講後にアテンダント認定されます。

これまで、高校生から80歳まで約50名がアテンダント認定され、半数近くの方が継続的に活動しています。元学校の先生・助産師・保育士など今までの経験を活かしたいと参加される方、ただただ子どもの元気な姿が好きだからと参加される方、コパールを利用する子育て・孫育て中のみなさまを純粋に応援したいとの気持ちで参加される方と様々です。絵本の読み聞かせやイベント出店時のお手伝いなども協力いただき、私たちスタッフにとっても無くてはならない存在です。

自主事業

一口育成会

担当企業：夢の公園

当館への寄付を通じて、子どもたちの育成を応援していただく制度です。寄付金は子どもたちの玩具・施設整備費・イベント運営費などに活用します。寄付いただいたお礼として、木製品へ名前（好きな文字も可）を刻印し、館内で紹介します。



各々の企業の強みを活かす

デジタルアトラクション

担当企業：シェルター／ヴォーチェ

大画面でデジタルアトラクション（タイトーまたはデジリハ）を親子で一緒に楽しむことができます。タイトー：10分 500円／デジリハ：10分 300円

ここくる

担当企業：ヴォーチェ

生きづらさ（不登校・引きこもり・きょうだい児など）を抱える若者のための第3の居場所です。現在、月・水・金 14:00～18:00（20:00までもあり）に開催です。

スポーツ教室

担当企業：生涯スポーツ振興会（アプルス）

コーディネーション能力を伸ばし体の土台を作ることを目的とした教室や、子育て中の方や地域の大人向けの教室を開催しています。

付帯事業

大型イベント・マルシェ

年5回、ステージイベント&マルシェ（屋外）を開催しています。ゆめのひろば周辺に飲食・物販のキッチンカーやテントが並び、ステージでは子どもたちが演奏やダンスを発表し、賑やかな1日となります。

おひさま食堂

併設カフェ「おひさま食堂」はサイニングカフェとして営業しています。定食・お弁当・おやつ、アレルギー対応食を提供しています。

受賞一覧

Golden Pin Design Award 2023「ベスト・オブ・ザ・イヤー」

2023年 日本建築学会賞（作品）

第18回 日本構造デザイン賞

第64回 BCS賞

2022年度グッドデザイン賞「グッドデザイン・ベスト100」

第16回キッズデザイン賞「奨励賞 キッズデザイン協議会会長賞」

ウッドデザイン賞 2022「優秀賞 林野庁長官賞」

日本空間デザイン賞 2022

ELLE DECOR 日本版「ジャパニーズ・ベスト・インテリア・デザイン賞」

第43回東北建築賞

第26回木材活用コンクール「優秀賞（（公財）日本住宅・木材技術センター理事長賞）」

LIXIL フロントコンテスト 2021「大規模施設部門 銀賞」

山形エクセレントデザイン 2023「エクセレントデザイン大賞」

第34回村野藤吾賞